

西建協だより

170号

2008年
9月



緊急道路啓開路線巡回点検訓練を終えて

二時間で七十路線、172kmを点検

災害対策特別委員会

平成二十年九月一日(月)午前八時より西多摩建設業協同組合に加入している全社により、緊急道路啓開路線巡回点検訓練を実施いたしました。

訓練内容は西多摩建設業協同組合が東京都知事と結んでいる道路啓開作業に基づく協定により、西多摩建設事務所が指定する啓開路線を組合員会社が受け持ちを決めて緊急災害発生時に巡回点検を行なうという内容です。

当日午前八時の発災時刻後速やかに各社が受け持ち路線を車、バイク、自転車、徒歩などの交通手段を持って点検し、西多摩建設業協同組合の災害対策特別委員会に報告することになっております。巡回路線は七十路線、延べの巡回距離は約一七〇km、出勤会社四十社の陣容で行なわれました。

午前八時二十五分から組合事務所に設置された、災害対策本部に報告の電話が入り始め、午前一〇時には電話とファックスでの全路線にわたる点検表の受信と完了報告が終了しました。二時間の間に西多摩地域の主要幹線道路を巡回し点検を終えたことはすばらしいことです。

主要の都道以外にも市町村道、国道などを含め西多摩地域には膨大な距離の道路が存在します。地域の一員として生きる西建協の組合員会社はそれらの全ての災害に対応する社会的責任を負っていると思っております。自分で作った道路、自分の住んでいる町、地域社会の中で建設業の社会的責任を果たしつつ生きる。このことの重要性を認識して今後も巡回訓練等を実施してゆきたいと思っております。

総務委員長就任のご挨拶

理事 岩浪岳史

(岩浪建設(株) 常務取締役)

今年度より総務委員長に就任いたしました。若輩者ゆえ至らない点もあるかと存じますが、誠心誠意務めますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

今年度の総務委員会運営にあたり、佐久間理事長による当組合の平成二十年年度基本方針を改めて確認しますと「西多摩地域社会に対する組合としての社会貢献」、「新規加入組合員の確保」そして「暴力団等排除協議会の活動充実」が直接当委員会に関わる事柄と思われまます。

地域社会への貢献は、西多摩に根を張る我々中小建設業者にとって、その存在意義ともなり得る重要な活動です。東京都との災害応急対策協定締結以外にも、建設業者

の必要性を地域住民の方々に直接感じて頂ける活動を、組合員の負担となり過ぎない形で検討します。

新規加入組合員の確保については、昨今の経済情勢からしても難しい面がありますが、引き続き情報収集を進めて行きます。また昨年度から本格的に活動を開始しました「賛助会員制度」につきましても、会員増を含め一層の拡充を図って参ります。組合員と賛助会員は共存共栄を目指す大切なパートナーであるとの認識でおりますので、新規加入組合員の情報収集と併せ、更なるご協力をお願い致します。

理事就任のご挨拶

武田雅由 (株)武田組 専務取締役)

この度、第四十二回西多摩建設業協同組合通常総会におきまして理事の選任を受けました武田です。私のような若輩者が大役を引き受ける事になり、大変戸惑いを感じておりますが、皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

昨今、温暖化による異常気象が囁かれておりますが、今年の夏はゲリラ豪雨と言われる集中豪雨が全国各地で被害が出ています。西多摩にも大きな被害はなかったものの、ゲリラ豪雨が発生しました。まさに温暖化・異常気象を痛感させられた出来事だったのでないでしょうか。治山・河川・下水工事など、私達の身の回りの工事に被害を及ぼしかねないこの豪雨に、一早い情報収集が必要で。現在、パソコンや携帯電話で何処でも多くの情報を得られる時代になりました。特に東京都下水道局ホームページの東京アメ

ツシユなどは、百二十分前から降雨の強さ・位置などが分かるり、工事を安全に行う上でより良い情報の一つだと思えます。今後、台風なども大型化が予想され被害の規模が大きくなると言われています。そしていざ起こる地震災害。

組合には道路管理者と災害応急対策協定があり、情報の共有と近隣業者協力の元、地元地域で営む者として災害発生時に、迅速な対応と復旧作業に取り組み、地域貢献に勤めていきたいと考えています。

まだまだ、現場

サイドからの文面になってしまいました。西建協の運営に携わる立場となった今、自分自身を高め、組合員皆様に少しでもお力添えが出来るよう精進して参ります。最後に、今回の通常総会により自社の社長に理事解任となり、役員の皆様・組合員の皆様には大変お世話になりました。社長に変わってお礼申し上げます。今後とも社長共々よろしくお願い致します。

◇記事一部訂正のご案内◇
八月号二面掲載の代表者氏名の記載違いがあり左記改正とお詫びを申し上げます。
(有)岡建材 (奥多摩町大丹波七二六)
代表取締役 師岡 学

西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会◇ 研修(講演)・総会の開催お知らせ

月日 平成二十年十月九日(木)
会場 羽村市生涯学習センター ゆとりぎ 小ホール

○研修(講演) 十四時
講師・警視庁組織犯罪対策第三課 管理官
ビデオ上映・他

○総会 十五時四十五分〜十六時二十分(予定)

暴力団等の介入しない明るく健全な建設業の環境づくりを推進するためには、一体化した「暴力団排除組織」を結成、西多摩地区建設業者が警察や暴追都民センターなど各関係機関と緊密な連携の下、暴力団等からの不当要求を排除して、資金源遮断に努めて行こうとするものです。尚、加入詳細については、西建協事務局に連絡されお聞き下さい。

*加入希望者は随時受け付け中

(加入申込書は希望者にFAX致します)

*年会費 一千円

*加入受付場所 西多摩建設業協同組合事務局

*研修会当日会場にて加入受付をいたします。

8月事業報告

- 5日 若手経営者の会 役員会
- 7日 事業委員会
- 8日 広報委員会169号編集発行
- 13日～15日 会館休館
- 19日 総務委員会
- 21日 あきる野地区委員会
- 27日 経営講習会
- 27日 理事会

9月事業計画

- 1日 道路啓開協定業者の自主的
出動・緊急巡回訓練実施
午前8時～10時 メイン会社
- 5日 広報委員会170号編集発行
- 8日 三多摩建設業連合会
平成21年度東京都予算等に対する
要望書提出及びヒヤリング
- 12日 労働衛生週間説明会
時間 午後2時～4時
会場 羽村市ゆとろぎ2階講座室
(西多摩分会)
- 16日 総務委員会
- 17日 正副理事長会・理事会
- 28日 若手の会 研修視察(1泊)

〈10月予定〉

- 9日(木) 西多摩地区建設業界暴力団等
排除協議会、研修(講演)・総会 開催
- 25日(土) 第16回地区別対抗ソフトボ
ール大会 開催
会場：青梅市

賛助会員PRコーナー No.6

福生コンクリート工業株式会社
代表取締役 山崎 順一

平素より西多摩建設業協同組合の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

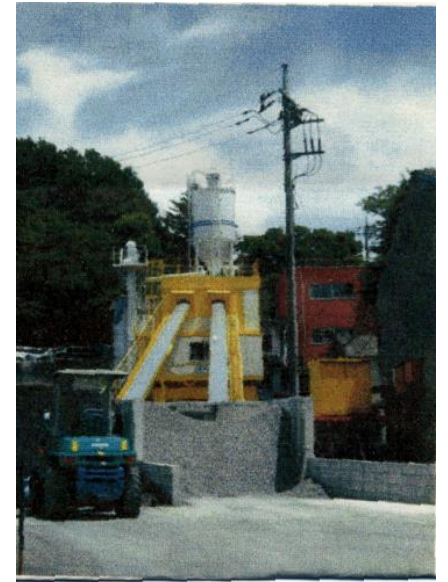
弊社では、組合員の皆様に工場生産する土木用コンクリート二次製品はもとより、関連する資材を含め、より良い製品とサービスの提供そして迅速な対応を日頃より心がけております。

又経営理念として掲げる「正直・謙虚・礼儀正しく」をモットーに少数精鋭集団と活気に満ちた職場作りの構築を目指しております。

ご賢察の通り公共建設投資の削減や原材料の高騰など先行き不安な面もありますが、品質管理の向上と安定供給確保に努めてまいり所存でございます。

今後共変わらぬご支援とご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが組合員の皆様のますますのご発展とご健勝をお祈りしまして、略儀ながらご挨拶とさせていただきます。

商号 福生コンクリート工業株式会社
所在地 〒197-0011 東京都福生市福生 3256
TEL 042-551-1521
FAX 042-551-1543
JIS 認証番号 GB0307272



◇ 特集 ◇ 多摩川に掛かる橋 第21回

◎圏央道多摩川橋

首都圏中央連絡自動車道の多摩川に架橋。青梅市・羽村市の境に位置(平成14年3月にこの区間開通)。景観の配慮からシンプルな構造とされた。川の中州の生態系保持のため架設工法や資材に留意された。時代感覚にマッチした壮大な景観を放っている。

友田水管橋より上流300mの位置に平成元年着工された。圏央道多摩川橋(上下2層構造)～青梅IC間は圏央道既開業区間でほぼ唯一「市街地を回避できなかった」区間であり、その為多摩川橋・青梅トンネルは上下2層構造になっており、市道の下に上下2層のトンネルをNATM工法で掘削した巨大トンネルです。

*橋種：高速自動車道

橋長＝352.2.0m、

道路規格 第1種3級B規格

設計速度 80 km/h

橋梁形式 鋼4径間連続曲線ダブルデッキトラス

上下2階建構造

橋長 352.200 m 有効幅員 9.750 m × 2

平面線形

R = 1 000.0 m

横断勾配 4.50%

縦断勾配 0.94%

床版

RC床版厚 220 mm

施工年月：平成13年3月

日の出IC開通

平成14年3月29日



手前より
・多摩川橋
・友田水管橋
・圏央道多摩川橋



友田水管橋 後ろは圏央道多摩川橋

◎友田水管橋

東京都小作浄水場より、青梅市長淵配水池に送水する径90cmと60cmの水管を支える橋。上空に描く切円の頂高は18m。

水管上の歩道は点検用で、以前の狭かった多摩川橋の歩道の役目をしていただ。

用途：水道

橋長＝125.0m、

歩道＝3m

構造：アーチ橋

トラスド・タイド

下路

下部：橋台2基

施工年月：昭和54年8月

水面まで10m

